

平成16年度学校経営計画

1 学校の現状

学校番号	25	学校名	県立水戸農業高等学校				課程	全日制		校長名	早 船 直 人					
教頭名	野 澤 龍 之		小 島 重 直				事務室長名	宮 部 茂 典								
教職員数	教 諭	57	養 護 教 諭	2	常 勤 講 師	4	非常勤講師	6	実習教諭・実習講師・実習助手	25	事務職員	6	技術職員等	22	計	133
生徒数	小学科	1年		2年		3年		4年		合計		合計ラス数				
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
	農業科	39	1	38	1	36	2			113	4	3				
	畜産科	28	13	22	14	17	20			67	47	3				
	園芸科	21	20	20	19	22	17			63	56	3				
	生活科学科	0	40	0	40	0	37			0	117	3				
	農業土木科	40	0	41	0	35	0			116	0	3				
	食品化学科	15	25	16	23	20	20			51	68	3				
農業経済科	30	10	29	11	24	16			83	37	3					

2 目指す学校像

心身の健全な発達を図り、自主性・実践力に富む社会の有為な形成者としての人格の完成を目指し、農業経営者および関連産業技術者の育成に努める。
魅力ある農業教育を実践し、担い手育成、農業クラブ活動の充実を図り、動植物の生育過程を通して、育てることの大切さや生命の尊さ、他人を思いやる心、環境への関心を高める態度を育てる。

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む）

項 目	現 状 分 析	課 題
学 習 活 動	学習意欲に乏しく、かつ学習活動に価値を見いだせない生徒が多く、継続的な学習活動が成立しない。	学習意欲を高め、学習活動に意義を認めさせることができるか。
進 路 指 導	入学時の進路希望では進学希望が多いが卒業時には就職希望者と大学・短期大学・専門学校希望者が約半々と進路選択の幅が広いため、すべての希望に対応した体制を作りにくい。 推薦入試が殆どであるため基礎学力を軽視し、疎かにする傾向がある。 農業高校の特性や学科の特性を生かした進路指導が実現できていない。	入学から進路決定までの一貫した進路指導体制をどのように整備するか。 県内の求人企業が少ないので、県内企業の求人開拓をどう推進するか。 毎日の授業の大切さや学習意欲をどのようにして喚起するか。
生 徒 指 導	特別指導のなかで喫煙件数が増えている。服装や日常生活マナーが十分でない。	規範意識と基本的道徳観（倫理観）の高揚をどう推進するか。
特 別 活 動	成達会（生徒会）活動や委員会活動またH R活動に興味・関心を持つ生徒が少なくなってきた。	成達会・委員会活動で生徒主体の企画・運営を行うとともにH R活動の充実を図る。
農 業 教 育	部活動よりアルバイトを希望していて、加入者が減少しつつある。 農業及び環境に関する諸問題について関心が十分でない。	生徒の積極的な参加による部活動の活性化。 生き物を育てることを通して、生命・農業・環境への関心をどう高めるか。

4 中期的目標

1 学習活動に意欲を持たせるために、特色ある本校施設を十分に生かした教育課程を編成すると共に、体験活動から基礎基本の学習にフィードバックする体制を作り上げる。
2 四年生大学・短期大学への進学者を増やすために、進路ガイダンスや個人面接、課外学習の機会を増やしA O入試、推薦入試、一般入試等、多様な入試形態に対応できるようにきめ細かな進路指導を推進する。機会あるごとに大学説明会に参加するとともに大学訪問を行って、入試情報や指定校推薦枠の獲得に努める。

- 3 心の教育の充実を図るため、生命の尊重と規律ある生活及びマナーの向上を含めた道徳教育を充実すると共に積極的にボランティア活動を推進する。
- 4 生徒自身が主体的に計画・実践し各活動を通して成就感や達成感が体験できるようにする。
- 5 農業各分野の実験・実習など実際の、体験的な学習及び農業クラブ活動を通して、生徒の自主的な学習を推進する。

5 年次ごとの重点目標

年次	重点目標	具体的目標	達成状況
1 年次	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な生活習慣の一環としての学習活動指導体制を構築し、かつ学習環境の整備に取り組む。 ・ 3年間を見通した計画的な進路指導を行う。 ・ 規範意識の高揚と規律ある生活の確立を図るための取り組みを実施する。 ・ 生徒主体の企画・運営を推進する。 ・ 生徒に農業学習やプロジェクト学習の進め方を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業時間の確保・厳守に努めると共に特色ある施設設備を生かした学習内容の改善・充実を図る。 ・ 進路ガイダンスの充実「進路の手引き」の内容の見直しを行う。進路情報の収集に努める。 ・ 全校挙げての奉仕作業や交通安全キャンペーン活動に取り組むことや、人間としての在り方、生き方について身近な問題を取り上げるなどHR指導の充実を図る。 ・ グループが環境対策として実施しているゴミの分別・リサイクル等を学校全体で取り組む体制を作る。 ・ 学校農業クラブ活動におけるプロジェクト発表や意見発表を通して自主的、主体的な学習を促進する。 	
2 年次	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個々の生徒の希望、各学科の学習方針を尊重した特色ある学習を推進する。 ・ 個人面接、三者面談を通して進路希望を明確にする。 ・ 生命尊重と規範意識の高揚について考えさせるための取り組みを実施する。 ・ 部活動への積極的な活動と継続を推進する。 ・ 農業及び農業学習についての興味・関心・を高める学習指導の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資格取得を推進すると共に体験学習を充実させ、学習活動への意欲を高める。 ・ 収集した進路情報資料に基づき、生徒の希望に応じた指導を徹底する。 ・ 社会奉仕活動や農業体験活動（自然体験学習）などに積極的に参加させ、人間としての生き方を学ばせる。また、地域の人々との関わり方などをHRで取り上げるなど、HR指導の充実を図る。 ・ スポーツ推薦の導入による部活動の活性化と各部のレベルアップに努める。 ・ 農業各分野の実験・実習など実際の、体験的な学習を通して、プロジェクト活動の目的・課題を自ら設定させる。 	
3 年次	<ul style="list-style-type: none"> ・ 積み上げた学習活動の成果を進路指導に生かせるような組織作りに努める。 ・ 模擬テストや小論文の添削指導、面接指導を通して生徒の進路実現を図る。 ・ 規範意識の高揚と社会のルールを守らせるための取り組みの実施 ・ ボランティア活動・体験活動の奨励 ・ プロジェクト活動を通して、自主的・主体的な学習態度を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習の集大成である「課題研究」の充実と研究成果を校内外へ発表する。 ・ 生徒の進路実現を図るため模擬面接や模擬テスト等の実施回数を増やすことにより、生徒の学力を把握して進路希望の実現に努める。 ・ P T A 保護者、地域の人々の協力を得て、規範意識の高揚のためにいろいろなキャンペーン等（交通安全・薬物乱用防止キャンペーン）を生徒に企画、参加させる。 ・ 具体的な社会問題や法規などをHRで取り上げなどHR指導の充実を図る。 ・ HR活動を通してボランティア活動・体験活動を積極的に推進し、意見・体験発表等の場を設定する。 ・ プロジェクト活動において、「研究のまとめ」を作成し発表会等を行う。 	